

(第2号議案資料)

社会福祉法人 真雅 令和3年度 事業計画案

事業区分	拠点区分	サービス区分	名 称	ページ
社会福祉事業	長浜 老人 福祉	地域密着型通所 介護	恒富東デイサービスセンター	1・2
		居宅介護	ケアプラン真雅	3
		地域包括支援セ ンター	延岡市恒富東地域包括支援セ ンター	4
	長浜 障が い福祉	生活介護	障がい者生活介護サービスセ ンターながはま	5、6
	北川 老人 福祉	訪問介護	訪問介護事業所 さくら	7
	北川 障が い福祉	生活介護	障がい者生活介護サービスセ ンターきずな	8・9
		指定特定相談支 援事業	サポートセンターながはま	10
		居宅介護	訪問介護事業所 さくら	7
	平原 障が い福祉	就労継続支援 B 型	就労継続支援 B 型事業所 ラ・ベルファム延岡	11、12
	公益事業	有料老人ホ ーム	有料老人ホーム えのたけ	有料老人ホーム えのたけ
障がい者専 用住宅		向陽の杜 のべ おか	障がい者専用住宅 向陽の杜 のべおか	13、14

令和3年度 事業計画(案)

事業所名 恒富東デイサービスセンター

	重点目標 (理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1	利用契約者の増加と利用人数の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・空き状況、見学・体験利用などの案内を各事業所へ定期的に配布し、実際に施設に足を運んでいただき利用に繋げ、新規獲得を目指す。 ・コロナウイルス感染症流行により、体調不良時の受け入れなど条件が厳しくなる中、持病等による慢性的な不調時の受け入れを、できる限り柔軟に対応できる体制を整える。 ・突発的な事由による、振替や追加利用の受け入れ調整を積極的に行う。 ・利用者様のニーズに特化した、余暇活動の充実を図る。
2	認知症ケア・サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの一環として、脳トレや余暇活動の充実を図る。 脳トレの取り組み方の見直しを行い、筆答ができない方は、職員が質問を行い口答で参加できる工夫などを行う。 ・個々意思を尊重し、意欲や楽しみを持って生活できる活動を見出す。 ・コロナ過の面会制限などで家族との交流が困難になっている為、オンライン(LINE)を活用した面会や、利用状況の報告など家族との情報交換の場を作る。 ・新しい生活様式を取り入れ、安心して楽しめる活動を計画し、制限のある中でもストレスを抱えることなく生活できる活動を取り入れる。
3	地域との関わりと、緊急時の体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生やボランティアの受け入れを積極的に行う。(※コロナウイルス流行状況による) ・方財保育園とのふれあい交流会を年間行事に組み込み、高齢者と地域の子供達が親しみを持って関われる機会を作る。 コロナ過で直接的な交流ができない場合は、別の形で交流が図れるよう、保育園に相談を行い計画する。 ・緊急災害時にお互いに協力できる体制を整え、連携を図れる関係を作っていく。また、年間を通じて防災意識を持ち定期的に訓練を実施する。 ・地域包括支援センターとの連携を図り、地域の活動への参加や、サロンへの訪問など同行しデイサービスを身近に知って頂く活動を行う。
4	職員の資質向上と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様、職員同士の尊厳を守り従事するよう、法令遵守に基づき業務遂行する。 ・毎月の勉強会のほか、各研修等へ参加し職員のスキルアップを図りプロとしての自覚を持って従事するよう意識付けを行う。 ・資格取得などスキルアップできる環境を提供し、意欲的に取り組めるサポートを行う。 ・認知症ケアに重点を置き、研修やミーティングを行いケアの資質向上を図る。 ・余裕も持って働ける環境づくりや、ミーティング、個別面談を取り入れながら、スタッフの心身のケアを行う。
5	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハットに対する意識改革を行い、常日頃から気付きを持ち全職員から偏りなく報告が上げられるように指導を行う。 ・ヒヤリ・ハットや事故報告は、その都度報告を行い、原因、経過、対処法について話し合い、全職員で情報を共有し未然に事故などを防げるよう取り組む。 ・認知症の利用者様が増加し、徘徊などのリスクも増えている為、安全に利用できるよう施設内の環境整備や、見守り体制、人員配置を見直し未然に事故を予防する。 ・各部署との連携体制を整え、災害時に備えた訓練を定期的実施。また、地域との協力体制を確認、構築していく。

令和3年度 恒富東デイサービスセンター 年間計画 (案)

	行事	担当	創作	運営	行事予算 (単位千円)
4月	園芸	安田	興梠	勉強会 (記録・ICT活用)	10
5月	端午の節句 ドライブ	尾島	小谷	勉強会(接遇、禁止句) 避難訓練	10
6月	おやつ作り	興梠	宇戸田	勉強会(認知症ケア)	10
7月	七夕祭り	安田	菅	勉強会(脱水、熱中症) まつり延岡総踊り参加	10
8月	夏祭り	宇戸田	尾島	勉強会(介護技術) 通報訓練	10
9月	敬老会	稲田	安田	勉強会(後見人制度) 第一回運営推進会議	30
10月	運動会	菅	小谷	勉強会(救命救急) 防災訓練(火災対応)	10
11月	焼き芋大会	興梠	稲田	勉強会(口腔ケア) 宮崎シェイクアウト訓練	10
12月	クリスマス会	小谷	宇戸田	勉強会(感染症対策)	15
1月	初詣・茶話会	菅	安田	勉強会(介護技術)	10
2月	節分 おやつ作り	尾島	興梠	勉強会(年間計画) 防災訓練(火災対応)	10
3月	ひな祭り お花見ドライブ	小谷	菅	勉強会(年間反省会) 第2回運営推進会議	10
※訪問販売、喫茶レク、その他の余暇活動検討中。				予備費	20
※敬老会、クリスマス会は方財保育園との交流会を予定。 ※コロナウイルス感染症の状況をみながら実施予定。必要に応じて変更あり。				予算合計	165

令和3年度 事業計画(案)

事業所名

ケアプラン真雅

取り組むべき課題

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1 安定した事業運営の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の増員にて新規利用者を獲得していく。 ・ 報酬改定があり、重要事項説明書等に不備のないよう対応する。 ・ 管理者が職員の業務進捗状況を把握し、体調不良の確認やコロナへの対策も考慮しながら運営していく。
2 介護支援専門員としての資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会や勉強会に積極的に参加し、その機会を利用して知識の向上また、情報収集やネットワークづくりをおこなう。 ・ 事例検討会や研修受講者等による伝達およびOJTをおこなう。 ・ ICT活用のためのスキルアップを図る。
3 医療との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段から医療職と関わり、入退院に際しては積極的に連絡・調整、情報交換を実施し、在宅生活または施設へのスムーズな移行を支援していく。
4 書類整備の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的に活動し、事前の準備と事後の記録を確実にこなう。 ・ 毎月、職員相互に書類の点検をおこなう。 ・ 5年間の書類の保存および期間終了分の破棄をおこなう。 ・ 報酬改定に向けての準備を図る。
5 苦情に対する迅速かつ適切な処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期段階での報告・連絡・相談をおこなう。 ・ 「相談・内容記録表」に記載し、事例を全員で検討し再発防止に努める。 ・ 地域包括支援センターや保険者にも報告・連絡・相談をおこなう。

令和3年度 事業計画（案）

事業所名 延岡市恒富東地域包括支援センター

○運営上の基本的な視点

- 1.【公益性の視点】—「公益的な機関」として、公正で中立性の高い事業運営を行います。
- 2.【地域性の視点】—担当地域の特性や実情を踏まえた適切かつ柔軟な事業運営を行います。
- 3.【協働性の視点】—職員相互が情報を共有し、業務全体を「チーム」として支えます。

重点目標	目標達成のための具体的な活動
様々な相談に対応する体制の充実、地域や関係機関との連携強化を図る	【総合相談支援業務】 ①【実態把握】—潜在化した問題やニーズを発見し、迅速に対応出来るよう取り組む。 ②【総合相談業務】—多様な相談に対応出来るよう職員研修の充実・窓口体制の整備、関係機関との情報交換や連携を行い、適切な相談対応ができる体制作りを行う。 ③【地域ネットワーク構築業務】—地域の社会資源やニーズの把握、関係機関との関わりから連携強化を行い、適切な支援を実施する。ネットワーク構築も引き続き行う。
高齢者虐待防止、成年後見制度の活用促進を図る	【権利擁護業務】 ①【基本姿勢】—複数問題を抱えた高齢者が、自らの権利を理解し、行使できるよう専門性に基づいた支援を行う。 ②【虐待防止】行政や地域(区長、民生委員等)、権利擁護センター等と連携を図り、高齢者虐待防止の普及啓発活動を行う。 ③【成年後見制度】認知症などにより判断能力の低下がみられる場合には、適切な介護サービスに加え金銭的管理、法律的行為等の支援のため成年後見制度の活用を図る。 ④【消費者被害防止】消費者被害情報の把握を行い被害を未然に防ぐよう支援を行う。
他職種協働による地域包括ネットワークの整備	【包括的・継続的ケアマネジメント業務】 ①【包括的・継続的なケアマネジメント体制の構築】 地域の介護支援専門員、関係機関との連携及び社会資源の活用。 ②【介護支援専門員に対する支援】 ア. 日常的個別指導・相談。 イ. 事例検討会・研修会の開催。 ウ. 支援困難事例等への指導・助言。
地域で安心して生活を継続できるよう、適正なサービス利用と自立を促す	【介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務】 ・対象者が介護予防に資する保健医療サービス又は福祉サービスの適正な利用により現在の状態の維持・改善が図れるよう自立支援に向けた介護予防サービス計画を作成し、一定期間経過後は目標の達成状況を評価し必要に応じて計画を見直す。
地域で暮らす高齢者への支援体制の充実、強化を図る	【一般介護予防事業業務】 ・転倒リスクや閉じこもり傾向等の何らかの支援を要する者の把握。 ・百歳体操紹介、測定の実施(実施出来ない地域への推進)。 ・出前講座の開催(各地域年1回以上を目標に実施)。 ・関係機関・協力員への呼びかけ、参加者の意欲を高める企画立案を行う。
地域の人材育成に努める	【実習生受入れ業務】 ・医師会看護師専門学校、聖心ウルスラ高等学校看護科、九州保健福祉大学実習生の受入れを行い、医療・福祉の人材育成に協力する。

令和3年度 事業計画(案)

事業所名 障がい者生活介護サービスセンター ながはま

理念

「明るく、楽しく、安全に」

個々の尊厳を大切に、「今日も楽しかった、来てよかった」と思ってもらえる様に支援します。

重点目標 (理由、数値目標を含む)		目標達成の為の具体的な活動
1	利用者の増加 及び新規利用 者の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関及び障害支援施設等への訪問活動を実施し、3～4名の新規利用者獲得を目指す。 ・振替利用や追加利用を積極的に打診し、1ヶ月の利用者平均を少なくとも12人以上に保てるよう努力する。 ・ご家族からの要望等に出来るだけ応える等、柔軟な対応を実施する事で信頼関係を築き、利用増加へ結びつける。 ・年間行事(野外レク、季節のイベント等)の充実化を図る事で、利用者の増加・獲得を目指す。
2	自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の残存機能を活かしながら、日常生活面の支援を行なう。 ・身体機能維持の為、個々の心身状態に応じた訓練の実施。 ・社会に対し、様々な関心や興味を持って頂けるような機会を設ける。 (買い物支援の実施、時季に応じてドライブ実施)
3	情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳活用など、十分なコミュニケーションを通して利用者や家族との情報を共有し、信頼関係を構築していく。 ・職員間では、朝礼・終礼での申し送りや伝達ノートの活用によって情報を共有し、また必要に応じてミーティングを開催する事で、日々の安全な業務を遂行する。 ・他事業所と情報を共有することで、利用者のニーズに沿った計画が実行できる。
4	リスクマネジメント とコンプライア ンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・各災害に備え、様々な事態を想定して年2回の防災・避難訓練を実施。 ・ヒヤリハット、事故、苦情等の実態を把握・調査し、再発防止に努める。 ・感染症対策、利用者の緊急時対策等、各種対応マニュアルの整備。 ・利用者やご家族の人権擁護と、プライバシー保護の徹底に努める。
5	介護技術・ 知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修等に積極的に参加し、施設内にて勉強会を実施する事で、職員のスキルアップを目指す。 ・働きやすい職場作り、また人材確保・教育にも努める。

令和3年度 行事予定計画(案)

事業所名 障がい者生活介護サービスセンターながはま

	行事	予算	勉強会
4月	いちご狩り 買い物研修		接遇・マナー
5月	新緑ドライブ		障がい者コミュニケーション
6月	クッキング	5,000円	食中毒関連
7月	買い物研修		防災関係
8月	海ドライブ		介護記録の書き方
9月	買い物研修		救命講習・AEDの使い方
10月	クッキング	5,000円	苦情処理
11月	野外レク	30,000円	介護技術
12月	クリスマス会	45,000円	感染症関係
1月	初詣		介護リスクマネジメント
2月	慰問	5,000円	障がい者虐待防止
3月	茶話会 花見ドライブ	10,000円	法令順守
		100,000円	※状況により内容変更有

令和3年度 事業計画 (案)

事業所名 訪問介護事業所 さくら

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
<p>1 運営管理</p>	<p>①新規利用者の獲得(随時) 「えのたけ」「向陽の杜」の入居者の方が対象のため、デイサービス(老人・障がい)と連携しながら利用率がさがらないよう、訪問の獲得、安定に努める。</p> <p>②利用者のニーズとヘルパーの調整を行い、訪問実績に繋がる様に努め安定を図る。</p>
<p>2 サービスの質の向上</p>	<p>①利用者個々のニーズに合ったサービスの提供。 ・本人、ご家族のニーズ、状態の変化などの情報を他機関と連携を取りながら本人に合った必要なサービスの提供に努める。</p> <p>②個別ケアの統一化を図る。 ・どのヘルパーが対応しても、利用者が戸惑わない様に同じ介助、支援方法などをヘルパー、職員間で連携を取り、情報の共有化を図る。</p> <p>③訪問介護計画に沿って決められた支援、介護を実施する。 ・訪問担当者表やボード、指示書などを活用し支援内容、時間、変更時などの連携が出来るように職場の環境を整える。</p> <p>④他機関との連携により健康保持、異常時の早期発見に努める。 ・事故や異常時には速やかに他機関と連携をして対応をし、再発防止に努める。</p>
<p>3 訪問介護計画の向上</p>	<p>①課題等を分析・評価することで解決し、介護サイドの立場も考慮し支援する。 ・月1回の勉強会、モニタリングで検討する。</p> <p>②介護計画書を随時見直し、適切なサービス提供を実施。</p> <p>③利用者、家族の声を聴き、他職種との連携を図り、問題解決改善に努める。</p> <p>④訪問介護常勤換算人数2.5人以下にならない様に毎日時間の確認をおこなっていく。</p>
<p>4 人材育成</p>	<p>①ヘルパーの育成 ・勉強会で委員会別の活動報告を行い、スキルアップを図る。 ・昨年度はコロナの影響で外部研修の参加が出来なかった為、今年度は積極的に外部研修に参加していく。</p> <p>②新人職員の育成 ・同行訪問にてヘルパーの基礎知識や支援の習得を図る。 ・事故報告、ヒヤリハット報告書での周知でケア事故防止に努める。</p> <p>③職員からの相談に応じる担当者の配置を行ない、精神面の軽減に努める。 ・管理者、提供責任者を配置し、個別に指導する。</p>

令和3年度 事業計画(案)

事業所名：障がい者生活介護サービスセンターきずな

理念：利用者様との絆を大切に、毎日楽しく心身ともに安定した暮らしが出来るよう、思いやりを持って支援していきます。

重点目標（理由、数値目標を含む）		目標達成の為の具体的な活動
1	運営管理	①新規利用者の獲得（随時） 「向陽の杜」入居者が利用対象者である為、常時満床を目指し、当事業所への新規利用につなげる ②利用者数確保 体調不良者等を出さないよう日々の健康管理をしっかりと行ない、事業所の稼働安定を図る
2	リスクマネジメント及びコンプライアンスの徹底	①安全の確保 安全会議の開催、ヒヤリハット報告の分析、薬剤管理の徹底 ②緊急事態への対処方法の確立 ・緊急対応（感染症対策等）マニュアルの作成と活用 ・防災訓練の実施（年2回） ③個人情報保護の徹底 プライバシー保護意識の徹底、重要書類等の管理
3	情報の共有化	①ミーティングの開催 必要に応じて会議等を実施する ②「向陽の杜」との連携 伝達ノート等を活用し、利用者の情報及び動向を伝達する
4	サービスの質及び職員の知識の向上	①安心・安全なサービスの提供 ・利用者のニーズに沿った個別支援計画等の作成 ・家族と情報を交換しながら利用者個々の思いを尊重し、心身状況を把握した支援を行なう ・事故等が発生した場合は速やかに対応し、再発防止に努める。 ②健康状態の観察 利用中は快適な生活が送れるように健康管理（バイタルサインの確認）を行ない、利用者個々の状況を常に把握し、事故防止・感染防止等に努める ③職員の育成 施設内・外での研修実施により、職員のスキルアップを目指す
5	自立支援	①機能訓練の実施 ・日常生活において自分で出来る事は自分でしてもらい、出来ない部分を支援する ・利用者及び家族の要望等を把握し、その方に合った支援計画の作成及び実施 ②社会適応訓練の実施 社会の様々なものに興味と感心を持たせ、積極的に社会参加を促す

令和3年度 行事計画 (案)

事業所名：障がい者生活介護サービスセンターきずな

	行事	創作活動	予算		勉強会
4月		和紙製作			接遇・マナー
5月	園芸		園芸材料費	20,000	食中毒関連
6月		七夕創作	七夕創作費	2,000	感染・褥瘡防止委員会
7月	七夕行事	うちわ作製	うちわ作製費	5,000	身体拘束防止委員会
8月		キーホルダー作製	キーホルダー作製費	3,000	事故防止委員会
9月	防災訓練				虐待防止委員会
10月	ドライブ		ドライブ	20,000	感染症関連
11月	クッキング		クッキング材料費	3,000	フード委員会
12月	クリスマス会				防災関連
1月		書初め			法令順守
2月	節分行事		豆まき材料費	5,000	高齢者虐待防止
3月	防災訓練				障がい者虐待防止
			予算合計	58,000	※状況により内容変更有

令和3年度 事業計画(案)

事業所名 サポートセンター ながはま

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
<p>1 個々の利用者に向けた事務処理を行う。</p>	<p>①新規利用者のサービス等利用計画の作成を行う。 ②市の障がい福祉課や病院のワーカー等と連携を図り新規利用者の情報収集に努め、新規の利用計画に繋げる。 ③計画作成後は利用者の状態を確認していき、各事業所と連携を図りながら計画変更等の検討を行っていく。 ④市への提出書類の作成を正確に実施する。特に実施日や会議実施日の日付等の相違がないように注意する。 ⑤当該利用者の情報入力を正確に行う。 ⑥請求管理を確実に進行。(国保連請求処理)</p>
<p>2 より質の高い計画相談支援を提供する。</p>	<p>①ケアマネジメント手法を活用し、障がい者ニーズや置かれている状況を勘案して、福祉、保健、医療、教育、就労、住宅等の総合的な視点から地域での自立した生活を支える。 ②障がい者の生活実態、ニーズや置かれている状況をアセスメントして障がい者本人の望む生活への意志を尊重して作成する。 ③市町村の支給決定前に、障がい者のニーズ等を把握して計画案を総合的視点から捉えて作成する。 ④計画作成前のアセスメントを重視し、適切な相談支援を実施する。 ⑤利用者がどのような生活を目指すか中立・公平な視点で、相談支援・専門員としての総合的判断のもと支援計画を立てる。</p>
<p>3 情報の共有化を行う。</p>	<p>①情報提供や助言、事業所等との連絡調整等を総合的に実施する。 ②利用者の状態を把握する為に関係事業所へ足を運び、定期的な聞き取りや担会議を開いていく。 ③利用者及びその家族との交流を図り、連絡を密にする。 (利用者を家族と一緒に支援していく。) ④利用者又は、その家族等から知りえた情報の共有化と守秘義務を徹底する。 ⑤計画の点検作業は一方向ではなく双方向で行い、相談支援専門員と担当者が共に確認しあう姿勢で臨み、課題を共有する。 ⑥本人や家族を支えていけるようにサービス提供事業所や市の障がい福祉課等と連携を図り、チームで支えていく。</p>

令和3年度 事業計画(案)

事業所名 就労継続支援B型事業所 ラ・ベルファム延岡

理念 個々の尊厳を大切にし、精神的・肉体的能力を高め、社会において自分らしく自立した生活を目指す。

重点目標 (理由、数値目標を含む)		目標達成の為の具体的な活動
1	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む事が出来るよう就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために、必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ることを目的とする
2	利用者増加及び安定新規利用者の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・見学 体験利用 パンフレット作成(事業所)相談員との連携を取り新規確保 ・振替利用 追加利用を積極的に打診し、1日平均13人を目標とし安定を図る
3	情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待を防止する為の取り組み方、日常的な支援場面の把握 チェック モニタリング ヒヤリ・ハット報告 苦情解決制度の活用などを職員へ周知徹底し、情報共有化する
4	安心安全な事業所支援作業の拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が、出来る作業を増やし、働きやすい環境と賃金向上に努める ・相談できる事業所 支え合える事業所 利用者のビジョンを分かち合う事業所に努める ・支援現場 環境美化を進め誇り高く胸を張れる事業所に努める ・車輛の安全チェック
5	健康管理衛生面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態(観察、自己管理の徹底) ・作業において安全面強化 相談員との情報交換 ・毎月一回大掃除を実施 ・手洗い消毒の徹底 使用エプロンの洗濯・除菌 ・コロナ対策により(送迎時・午後の作業前)検温・アルコール除菌徹底

令和3年度 就労継続支援B型事業所 ラ・ベルファム延岡 行事計画(案)

	年間行事	予算	勉強会
4月	・花見(行楽)		接遇、禁止句
5月			障がい者虐待防止委員会
6月			食中毒
7月	・七夕祭り・市役所販売	・5.000	防災関連
8月			脱水、熱中症
9月			苦情処理
10月	・秋行楽	・10.000	事故防止委員会
11月			障がい者コミュニケーション
12月	・クリスマス・忘年会	・10.000	感染症関連
1月	・正月・茶話会	・10.000	防災関連(地震・津波)
2月	・節分		年間作業計画
3月	・桃の節句		年間反省会
※状況により内容変更あり			

令和3年度(案) 事業計画

事業所名 有料老人ホームえのたけ 障がい者専用住宅「向陽の杜のべおか」

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1 運営管理及び生活支援サービス	①利用者様の個人情報尊重とプライバシーの徹底。 ②利用者様の尊厳を尊重及び、個人の意向や希望に沿った支援の実施。 ③利用者の家族、親類、友人のコミュニケーションの場となるよう支援する。 ④その方らしい生活の場の提供と、生きがいを引き出せるよう支援する。 ⑤他機関との連携を図りながら、利用者に負担無く、満床維持に努める。 ⑥イベントも取り入れた家庭的で明るい雰囲気を作り、社会行事に合わせた催し物を開催、利用者楽しんでもらう。
2 健康管理及び緊急時の対応	①看護職員による日々の健康管理の実施。 ②協力医と連携し、利用者様の健康保持・異常時の早期対応に努める。 ③利用者様に体調変化がある時は、ご家族に連絡し必要に応じ受診の実施予定。
3 感染症対策	①研修、施設内各委員会発足、強化を図り、専門性の向上に努める。 ②随時マニュアルを改変、作成し活用する。
4 食事の提供	①食事・おやつは栄養管理され、適温にて提供する。 ②補助具の活用や食事形態の工夫をし、自己摂取を促す支援の実施。 ③嗜好に考慮し、時節の行事に応じた食事提供の実施。 ④咀嚼・嚥下状態を把握し、安全に楽しく食事ができる環境整備の実施。
5 生活相談・助言	①日頃から利用者様やご家族が、気軽に相談しやすい関係の構築。 ②相談には親身に対応する。 ③利用者様の生活上の変化等、必要時はご家族に連絡・相談する。 ④苦情相談窓口を設け、誠意を持って迅速な解決に努める。
6 安全対策	①指定の電気管理技術者による、年2回の点検・整備の実施。 ②利用者様の安全確保に迅速な対応ができるよう、年2回の防火、防災訓練の実施。 ③状況に合わせたセキュリティ強化の実施。

行事計画表

令和3年度(案) 有料老人ホーム「えのたけ」
向陽の杜 のべおか

	社会行事	施設内行事	備考	予算		職員研修
4月	大師祭 みどりの日	誕生会 花見ドライブ	散髪	誕生会 (慰問者用送迎代、 または御茶菓子代)	3,000	勉強会
5月	憲法記念日 こどもの日		散髪			勉強会
6月	入梅	誕生会	散髪	誕生会 (慰問者用送迎代、 または御茶菓子代)	3,000	勉強会
7月	七夕祭り	七夕行事 (ソーメン流し)	七夕飾り付け 散髪	ソーメン流し経費	3,000	勉強会
				誕生会	3,000	
8月	お盆	夕涼み会 (夏祭り)	散髪	夏祭り経費	70,000	勉強会
9月	敬老の日 秋分の日	敬老会 防災訓練	敬老会 プレゼント及び イベント食	プレゼント経費 ¥700×22名	16,000	勉強会
10月	体育の日 十五夜	屋外食事会 誕生会	鮎やな 散髪	鮎やな昼食代(職員) ¥500×35名	18,000	勉強会
				誕生会	3,000	
11月	文化の日 勤労感謝の日	避難訓練	散髪	誕生会 (慰問者用送迎代、 または御茶菓子代)	3,000	勉強会
12月	クリスマス 天皇誕生日	クリスマス会	年越しソバ 散髪	鏡餅 門松	40,000	勉強会
1月	元旦 成人の日	鏡開き	正月膳 七草粥 鏡開き (ぜんざい)			勉強会
2月	節分 建国記念日	節分 (豆まき) 家族懇談会 誕生会	恵方巻き 散髪	豆まき経費	2,000	勉強会
				誕生会	3,000	
3月	ひな祭り 春分の日	お雛様 防災訓練	雛壇飾り付け ひな膳 花見膳			勉強会
				予算合計	167,000	